

カメムシ（クサギカメムシ）

特徴と生態

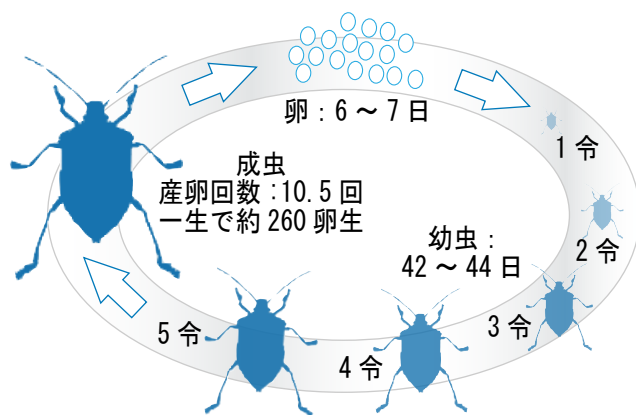


- 成虫体長…14 ～ 18 mm
体色…暗褐色で黄褐色の不規則な斑紋
- 幼虫体長…約 2.4 mm
体色…黒色、腹部は黄赤色
- 卵の体長…長さ約 1.6 mm 幅 1.3 mmの楕円形
体色…淡黄褐色
- 成虫は家屋、積み重ねた木材、樹皮の隙間などに潜入して越冬します。
4 月頃に越冬場所を離脱し、付近の樹木に飛来して交尾します。
5 月下旬～ 6 月上旬、クサギなどに産卵します。幼虫は 6 月中旬から見られ、
新成虫は 8 月中・下旬から出現します。

分布と発生場所

- 北海道を除く、本州、四国、九州、沖縄本島、石垣島、西表島などに広く見られます。本種が繁殖する寄主植物は、クサギ、クワ、コウゾ、ケヤキ、ノブドウ、サクラなどがあります。越冬成虫はモモ、ナシ、リンゴ、オウトウ、ビワなど、新成虫はカキ、ブドウ、ミカンなどに飛来します。

● サイクル図

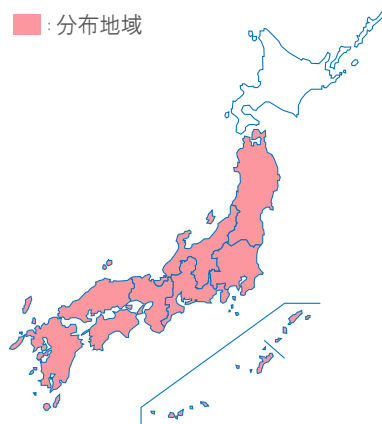


● 発生時期

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月

■ : 多い ■ : 少ない □ : ない

● 分布図



被害

- 10 月下旬から 11 月上旬頃、越冬のため家屋に大量飛来し、強い悪臭を放ちます。またダイズ、ササゲなどのマメ類やミカン、カキ、ウメ、ナシ、モモ、サクランボ、ビワ、リンゴなどの多くの果樹を吸汁するので、農業害虫としても重要視されています。

駆除

- 対策としては、屋内への侵入防止を図ることが有効です。窓の開閉管理や網戸の設置、また外壁や窓枠、換気口周りにエアゾールを噴霧し虫を寄せ付けないようにします。室内に侵入したカメムシは、エアゾールを直接噴霧して駆除するか、刺激しないよう捕まえて外に放す等してください。